

数字で見るワイン産業（2020年版）

2021年5月発表

スペインは世界でも有数のワイン生産国である。栽培面積では世界 1 位にランキングされ、2020/2021 期のワインとマスト(果汁)の生産はイタリアおよびフランスに続いて第 3 位、また、2020 年の輸出総量でイタリアに続き世界第 2 位、輸出総額では両国に次いで第 3 位の位置を占める。

スペインにおけるワイン産業は、経済的観点からだけでなく、社会の中で果たす役割、環境保護の観点からみても重要なものである。また、海外におけるスペインのイメージを代表するものとして、この産業の果たす役割は大きい。

1. 世界市場の状況

ぶどう栽培面積

国際ぶどう・ワイン機構 - O.I.V. (International Organization of Wine and Vine) のデータによると、2019 年の世界のぶどう栽培面積は前年からわずかに減少して約 730 万 ha と推定されるが、2017 年からほぼ同じレベルを維持しているといえる。

EU のワインの生産能力調整促進政策が終了してより、EU 域内でのぶどう栽培面積の減少は目に見えて緩やかになった。2011 年から 2012 年の間に、EU 域内のぶどう栽培面積は 5 万 4000ha 減少したが、2013 年から 2014 年の間では 1 万 9000 ha の減少にとどまっている。2020 年の EU 域内のぶどう栽培面積は 330 万 ha と推定される。新しいぶどう栽培面積

国別ぶどう栽培面積

出典: O.I.V.のデータを元に、OeMvが作成

(単位:千ha)	2008	2010	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019 暫定	2020 予測	構成比率 基準 2020年
スペイン	1,165	1,082	1,017	973	975	974	975	968	972	966	961	13.11%
フランス	858	818	792	793	789	785	786	788	792	794	797	10.87%
イタリア	825	795	713	705	690	685	693	699	701	713	719	9.81%
ポルトガル	246	244	233	227	224	204	195	194	192	195	194	2.65%
ルーマニア	207	204	192	192	192	191	191	191	191	191	190	2.59%
その他のEU諸国	491	474	472	472	473	476	477	472	463	341	439	5.99%
EU合計	3,792	3,654	3,419	3,362	3,343	3,315	3,317	3,312	3,311	3,200	3,300	45.01%
米国	402	404	412	449	450	446	439	434	408	407	405	5.52%
トルコ	518	514	497	504	502	497	468	448	448	436	431	5.88%
中国	480	539	707	757	813	859	770	760	779	781	785	10.71%
アルゼンチン	226	217	222	224	228	225	224	222	218	215	215	2.93%
チリ	198	200	206	208	213	214	209	207	208	210	207	2.82%
南アフリカ	132	132	135	133	132	133	130	128	123	122	122	1.66%
オーストラリア	173	171	162	157	154	147	145	145	146	146	146	1.99%
非EU合計	3,784	3,858	4,068	4,176	4,214	4,225	4,062	4,014	4,022	4,142	4,031	54.99%
世界合計	7,576	7,512	7,487	7,538	7,557	7,540	7,379	7,326	7,333	7,342	7,331	100.00%

管理体制により、ヨーロッパ産ワインの年間増産率が 1%になるよう制限されている。

2020 年の EU 域外のぶどう栽培面積は 2019 年と比べると減少して約 400 万 ha。中国は今期、栽培面積を下方修正して、約 79 万 ha とし、結果、フランスの約 80 万 ha を下回り、世界第三位となった。さらに、O.I.V.のデータによると、中国に現存するぶどう栽培面積のほぼ 3 分の 2 は巨峰やレッドグローブといった種類の生食用品種のぶどう(ワイン醸造用ではない)の栽培にあてられている。また O.I.V.のデータには干しぶどう用の生産に向けられるぶどうの栽培面積も含まれているため、純粹にワイン醸造用のぶどう品種の栽培面積で比較する場合、中国を世界第 3 位の栽培面積を持つ国とするには注意が必要である。

世界の生産量

O.I.V.は、2020 年の世界のワイン生産量(マストとブドウジュースを除く)は約 2 億 6000 万 hl と予測する。2019 年との比較でほぼ 300 万ヘクトリットル(以下 hl)(約+1%)増で、わずかだが増産しているとみられる。

2020年のEU域内でのワイン生産量は1億6500万hlと推定され、2019年単年の生産量より約5.8%増加した(+900万hl)。世界に広がったコロナ禍によりワイン需要の世界的な落ち込みが予想されたため、一部のEU加盟国やEU全体として、規制等の措置により生産を制限する動きがあったが、気象は好条件を記録し、EU域内の多くの地域でワイン生産量が増加した。生産量はそれぞれ、イタリア(4910万hl)、フランス(4660万hl)、スペイン(4070万hl)で、この3か国の合計で世界の2020年ワイン生産量の53%を占める。

国別ワイン生産量													
出典: O.I.V.のデータをもとにOeMvが作成													
単位: 千hl	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019暫定	2020予測	2020/19 年比	2020基準 構成比
イタリア	48,525	42,772	45,616	42,134	54,029	50,000	50,900	42,500	54,800	47,500	49,100	3.4%	18.9%
フランス	44,381	50,757	41,548	42,134	46,504	47,000	45,400	36,400	49,200	42,200	46,600	10.4%	17.9%
スペイン	35,353	33,397	31,123	45,308	39,500	37,700	39,700	32,500	44,900	33,700	40,700	20.8%	15.7%
その他のEU諸国	28,117	30,238	25,417	31,475	31,243	38,254	28,700	29,300	33,000	32,600	28,600	-12.3%	11.0%
EU合計	156,376	157,171	141,415	174,158	166,232	172,954	164,700	140,700	181,900	156,000	165,000	5.8%	63.5%
米国	20,887	19,140	21,650	24,400	23,100	21,700	24,900	24,500	26,100	25,600	22,800	-10.9%	8.8%
アルゼンチン	16,250	15,473	11,778	14,984	15,197	13,358	9,400	11,800	14,500	13,000	10,800	-16.9%	4.2%
チリ	8,844	10,464	12,554	12,820	9,900	12,870	10,100	9,500	12,900	11,900	10,300	-13.4%	4.0%
オーストラリア	11,420	11,180	12,259	12,310	11,900	11,900	13,100	13,700	12,700	12,000	10,600	-11.7%	4.1%
非EU合計	107,812	110,632	116,796	118,060	103,768	102,046	105,300	107,300	112,100	102,000	95,000	-6.9%	36.5%
世界合計	264,188	267,803	258,211	292,218	270,000	275,000	270,000	248,000	294,000	258,000	260,000	0.8%	100.0%

EU域外では、米国の生産量は2280万hlで、2019年と比較して約11%の減産。この減産の原因として様々な要因が考えられるが、天候不順やワインの供給過剰を回避するための措置が取られたとみられる。

南半球では、南アメリカ諸国では2019年に比べて減産傾向にある。この理由としてエル・ニーニョにもたらされた悪天候があげられ、大雨でぶどうの木のカビに被害が出たとみられる。減産量は、アルゼンチン(-17%)、チリ(-13%)、ブラジル(-5%)などとなった。

南アフリカの2020年の生産量は1040万hlに達し、2019年と比較して+7%の増加。2016年から3年連続して同国に大きな影響を与えた干ばつの以前に記録された平均生産レベルを回復しつつあるとみられる。

オセアニア諸国に関しては、オーストラリアのワイン生産量は3年連続で減少し、1060万hl(約-11%)となり、過去10年の間で最も低いレベルとなった。逆にニュージーランドの2020年のワイン生産量は330万hl(+11%)で、記録のある中で最大の生産量に達した。

世界のワイン消費量

O.I.V.が2021年4月に発表した最新のデータによると、2020年の世界のワイン消費量は、2億3400万hlと推定され、2019年と比較して3%の減少。この700万hlの減少は、2009年の世界的な金融危機のときに見られたものに非常によく似ている。COVID-19の年であった今期、ワイン消費に関して、世界の様々な国々で、それぞれ異なった様相をみせた。2002年以来記録された最低の数値であるにもかかわらず、2020年に世界が直面した様々な課題を考慮するならば、さほど悪いデータではないともいえる。また、O.I.V.が指摘しているように、中国が同国のワイン消費量を下方修正し、ここ数年のワイン消費の落ち込みを主導していることも考慮すべきである。

英国が EU を離脱した後の 2020 年、EU 加盟 27 国のワイン消費量は 1 億 1200 万 hl で、これは世界の消費量の 48% に相当する。2019 年の数値に近似しているが、推移は市場により異なっている。2020 年はイタリアの消費量が 2450 万 hl (+7.5%) で、過去 10 年で最大量となった。

世界のワイン消費量											(単位: 100万hl)	
出典: O.I.V.のデータをもとにOeMvが作成												
国名	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019 暫定	2020 予測	2020/19 年比	2020基準 構成比	
米国	30.0	30.8	30.6	30.9	31.3	31.5	32.4	33.0	33.0	0.0%	14.1%	
フランス	28.0	27.8	27.5	27.3	28.3	28.6	26.0	24.7	24.7	0.0%	10.6%	
イタリア	21.6	20.8	19.5	21.4	22.4	22.6	22.4	22.8	24.5	7.5%	10.5%	
ドイツ	20.3	20.4	20.3	20.5	20.2	19.7	20.0	19.8	19.8	0.0%	8.5%	
英国	12.8	12.7	12.6	12.8	12.9	13.1	12.9	13.0	13.3	2.3%	5.7%	
中国	17.1	16.5	15.5	18.1	19.2	19.3	17.6	15.0	12.4	-17.3%	5.3%	
ロシア	11.3	10.4	9.6	9.7	10.1	10.4	9.9	10.0	10.3	3.0%	4.4%	
スペイン	9.9	9.8	9.9	9.8	9.9	10.5	10.9	10.3	9.6	-6.8%	4.1%	
アルゼンチン	10.1	10.4	9.9	10.3	9.4	8.9	8.4	8.9	9.4	5.6%	4.0%	
オーストラリア	5.4	5.4	5.4	5.5	5.4	5.9	6.0	5.9	5.7	-3.4%	2.4%	
ポルトガル	5.0	4.2	4.3	4.8	4.7	5.2	5.1	4.6	4.6	0.0%	2.0%	
世界合計	243.6	243.0	240.0	243.0	244.0	246.0	244.0	241.0	234.0	-2.9%	100.0%	

米国は 2020 年も、世界第 1 位のワイン消費国として地位を維持した。COVID-19 の世界的な感染拡大にもかかわらず、3300 万 hl という消費量は 2019 年とほぼ変わらない。この要因の可能性として、「米国のとった人流抑制の措置がそれほど厳しくなかったこと、同国市場でのネット販売が発達している」ことが考えられる。

中国に関しては、2020 年のワイン消費量は 1240 万 hl と推定され、2019 年比で 17.3% の減少。昨年第 1 四半期に中国がとった厳格な封鎖措置が間違いなくこの原因と考えられる。しかしながら、中国のワイン消費量が大幅に減少するのは 3 年連続してのことであり、今世紀初めから記録されてきた中国での急激なワイン消費の伸びは終わりを迎えたとみるべきである。日本はアジアにおける第 2 位のワイン消費大国で、6 年連続で 350 万 hl の安定した消費レベルを維持している。

南アメリカでは、2020 年の全般的なワインの消費量は 2019 年と比較して増加し、アルゼンチンは 940 万 hl (+5.6%)、ブラジルは 430 万 hl (+18.4%)、チリは 180 万 hl (+4.1%)。

南アフリカの消費量の減少が顕著で (-19.4%)、310 万 hl の減少は、過去 20 年間で最大である。この大幅な減少は、COVID-19 危機によるものであり、南アフリカでは外出制限措置がとられていた 14 週間の間、オンラインを含めてアルコールの販売が禁止されていた。

最後に、オーストラリアの消費量は 570 万 hl と推定され、2019 年と比較して 3.4% 減少した。

世界の輸出状況

2020 年はワインの世界貿易にとって困難続きの一年となり、様々な解決すべき課題が次々と起こった年であった。世界的な COVID-19 のパンデミック、英国の EU からの離脱(Brexit)に加えワイン産業を直接襲った、トランプ関税(トランプ政権によってヨーロッパ数か国のボトル詰めワインに課された超過関税)、中国でのワイン消費の落ち込み、2020 年 6 月から施行されたロシア連邦のワイン新法によってバルクワイン買付が大幅激減になった、などが挙げられる。

数カ国の税関データを集計した GTA(Global Trade Atlas) のデータによると、昨年の世界のワインの輸出は、金額ベースで 6.6%の大幅な損失を記録し、297 億 3600 万ユーロに留まった。これは、過去 4 年間で最悪の数字であり、2014 年にごくわずかな損失を記録して以来の減少となった。減少額は約 21 億ユーロで、前回、11 年前の世界の金融危機のときに記録されたものに近似する。一方で、世界のワイン輸出量はほとんど変化がなく、102 億 3900 百万リットル(-0.2%、1680 万リットル減少)であった。ということは平均販売価格が下落したことになる。平均で 6.4%下落し、1 リットル当たり 2.88 ユーロとなった。その前の 2 年間は 1 リットル当たり 3.10 ユーロで推移していた。

危機の時代によくみられることではあるが、付加価値が高い製品ほど、売上実績も悪くなってゆく。ボトル詰めワインとスパークリングワインは、昨年、それぞれおおよそ 12 億 5000 万ユーロと 10 億ユーロの損失を記録し、また、大幅に価格が下落したにもかかわらず、数量においても大幅な減少となった。一方、低価格のバルクワインと BiB(バッグインボックス)ワインは、数量、価格ともに伸びを記録して年を締めくくった。

世界のワイン貿易の大幅な減少は、とりわけ昨年の上半期、より具体的には、パンデミックが最悪の状況を見せ、外出制限措置のとられていた 4 月と 5 月に集中した。下半期には動向にやや好転がみられ、最悪な状況から抜け出すことができた。

フランスは付加価値の高い製品の供給国であるが、わずか 1 年で輸出売上高の約 10.8%を失い、損失額は 10 億 6000 万ユーロに相当する。それでもフランスは世界一位の売上国であり続けている。数量ベースにおいてイタリアやスペインから遠く引き離されているにもかかわらず、ドイツは、2020 年に主要ワイン輸出国 11 か国の中で最もワインの輸出を減らした。フランス同様、いわゆる「トランプ関税」の施行により、米国へのワイン販売を大幅に減少させたことに起因する。

2020 年に顕著だったのは、フランスのスパークリングワイン(シャンパン)の売上の大幅減少と、イタリアのスパークリングワインの売上低下である。この分野ではプロセッコが牽引し長年にわたり桁外れの成長を続けていた。

ワイン全体として、イタリア、スペイン、フランスの 3 国が明らかに世界の輸出をリードしている。この 3 国のうちスペインは、価格ベースと数量ベースの両方で、最も下落幅を抑えられた

国であり、主要ワイン輸出国 11 か国の中で、イタリアと同様に、輸出の平均販売価格を下げずにすんだ供給国となった。

2. スペインにおけるワイン産業

スペインにおけるワイン産業は重要な地位を占める。それは単に、この産業の生み出す経済価値だけによるのではなく、この産業に従事する人口、また環境保全の意味からも、この産業の果たす役割は大きい。

ぶどう栽培面積

毎回述べることであるが、O.I.V.のデータによると、2020年のスペインのぶどう栽培面積は96万1000 haで、EU諸国及び世界に大きな差をつけて最大の栽培面積を有している。これはEU域内の全ぶどう栽培面積のほぼ30%を占め、次いでフランスが23%、イタリアが22%と続く。また世界の栽培面積と比較すると約13%をスペインが占める。スペインのワイン製造の歴史は古く、ローマ時代にまで遡るが、大規模な輸出産業として広がったのは近年になってからである。

スペイン国内のぶどう栽培

地理的位置関係、気候の違いや土壌の多様性が、イベリア半島や諸島部を、非常にバリエーション豊かなワインの産地とならしめている。スペインには17の地方自治州があるが、そのすべての地域でぶどう栽培が行われている。しかし、全体の約半分を占めるのがカスティーリャ=ラ・マンチャであり(46万5140 ha、ぶどう作付面積の49%)、世界最大のぶどう栽培面積を誇っている。次いでエストレマドゥーラ(8万3763 ha、9%)、カスティーリャ・イ・レオン(7万2891 ha)、バレンシア(5万9915 ha)。この主要4地域に続くのが、カタルーニャ、ラ・リオハ、アラゴン、ガリシア、ムルシア、アンダルシアである。

減反政策が終了した後のスペインのぶどう栽培面積は安定している。スペイン農業・漁業・食糧省が実施した「栽培面積と収量に関する調査(ESYRCE - Encuesta sobre Superficies y Rendimientos Cultivos)」によると、2020年の我が国のぶどう栽培総面積は、94万9565 ha。前年の95万2829 haからは、-0.3%(3264 ha)の微減がみられた。2019年と比較して、5つの地方自治州でぶどう栽培面積が増加した。

スペインには、**原産地呼称保護(PDO)認定ワイン**を生産している地域が97ある。原産地呼称(DO - Denominación de Origen)が68、特選原産地呼称(DOC - Denominación de Origen Calificada)が2、地域名称付き高級ワイン(Vino de Calidad con Indicación Geográfica)が7、単

一ぶどう畑限定高級ワイン(Vino de Pago)が 20 地域に認められており、各生産地でヨーロッパの基準に従って、生産量、醸造法、品質管理のすべての面で厳しい管理が行われている。また、上記の他に**地理的表示保護(PGI)**が認められたワイン生産地域が 42 か所ある。(1932 年に制定された原産地呼称に関しては割愛)

英語版 Winesfromspain のサイトから、スペインの DO/ PGI マップをダウンロードすることができますのでご利用ください。

<https://www.foodswinesfromspain.com/spanishfoodwine/global/wine/do-and-igp-maps/index.html>

公表されている最新のデータによると、収穫されるぶどうのうち、51.1%が赤ワイン及びロゼワイン用で、48.9%が白ワイン用である。スペインで栽培されるぶどう品種は、生産量の多い順から、アイレン(23.5%)、テンプラニーリョ(20.9%)、ポバル(7.5%)、ガルナチャ・ティンタ、モナストレル、パルディナ、マカベオ、パロミノである。この中で、赤ワイン用はテンプラニーリョ、ポバル、ガルナチャ・ティンタ、モナストレルで、残りは白ワイン用である。

一方、ワインのスペイン国内消費量は懸念される数値を示し続けている。現在の推定では、一人当たりの年間消費量は 20 リットルを下回っており、ヨーロッパ諸国の中でも下位に位置する。

スペインにおけるワイン生産量

ワイン産業情報システム (INFOVI - Sistema de Información de Mercados del Sector Vitivinícola)が 2021 年 3 月に公表したデータによると、2020/2021 期のワインの生産量は 4084 万 hl で、前期を約 21.6%上回る。これらのデータによると、ワインの生産量は 726 万 hl 増加した。

3 月の INFOVI データの詳細版によれば、生産の 35%が原産地呼称保護(PDO)認定ワイン、12%が地理的表示保護(PGI)付きのワイン、25%が品種表示ワイン、残りの 28%が無表示ワインとなる。

3. 産業の構造

現在、スペインのワイン産業は、近代化とリノベーションの重要な変換の時期にある。2000 年以來、再転換がなされてきたぶどう栽培地の面積は 13 万 ha を超え、このために 8 億€に及ぶ投資が行われている。スペインでは約 4000 のワイナリーがスティルワイン、スパークリングワインやリキュールワインの生産に従事している。その大部分が小規模な、国内資本または家族経営で運営されるものであるが、一方では、かなりの数の農業協同組合も組織されている。

一方、売上高 1 億€以上の大規模ワイナリーの代表的な企業には、フレシネ (Freixenet)、J. ガルシア・カリオン (J. García Carrión)、コドーニュ (Codorníu)、アルコ・ワイン・インベストメント・グループ (Arco Wine Investment Group)、ドメック・ボデガス (Grupo Domecq Bodegas)、ミゲル・トーレス (Grupo Miguel Torres S.A)、フェリックス・ソリス・アバンティス (Félix Solís Avantis)、ファウステイーノ (Grupo Faustino) などのよく知られた名前が並ぶ。

つまり、産業構造としては、小規模ワイナリー及び協同組合と大規模企業が共存しており、大手ワイナリーは、バラエティー豊かな製品を提供するために、様々な地方に生産拠点を所有している。生産の全過程で品質管理を徹底するため、自社用のぶどう畑を購入したり、作付面積を拡大したりするワイナリーもあるが、他のぶどう栽培農家から原料となるぶどうの買付けをしたり、協同組合からワインに加工されたものを購入している場合もある。また、より幅広い高品質なワインを生産するために、ワイナリーの新設、設備・施設の改良、熟成方法の技術開発のために多額な投資が行われてきたが、昨今の経済危機の影響を受け、投資レベルは低下した。その状況下でも、多くのワイナリーが新しいぶどうの品種やその土地固有の品種を使って、試行錯誤を繰り返し、技術革新を行いながら、今の時代の消費者の好みにあったワインの生産を行っていることは特筆すべき点である。

高品質ワインのワイナリー数がもっとも多いのは特選原産地呼称 DOCa リオハで(801)、続いてDOカバ(390)、DOリベラ・デル・ドウエロ(310)、DOラ・マンチャ(269)、DOカタルーニャ(202)、DOペネデス(173)、DOリアス・バイシャス(184)である。

ワイナリーの刷新に際し、世界的に著名な建築家に依頼して新ワイナリーの建設を行う動きも起こり、例えばリオハのドメック(Domecq)、ボデガス・イシオス(Bodegas Ysios)はサンティアゴ・カラトラバ氏設計による。また、CVNE のワイナリーはフィリップ・マジエール氏設計、マルケス・デ・リスカル(Marqués de Riscal)はフランク・O・ゲイリー氏設計による。ザハ・ハディッド氏設計による R・ロペス・エレディア(R. López Heredia) の店舗や、ナバーラのボデガス・チビテ(Bodegas Chivite) のためにラファエル・モネオ氏が設計したセニョリオ・デ・アリンサノ (Señorío de Arínzano) が挙げられる。

スペインのワイン業界は非常に活発な動きをみせている。市場集中度も比較的高く、上位 5 社グループで市場の約 28%を占めている。外国資本の参入については、大手企業においてはそれほど大きくはないが、海外での販売力を高めるために、他国の同業社との提携を結ぶことが増えている。同様に、激戦化する海外進出のプロセスに共同して取り組むため、流通業者同士で協定を結ぶケースも増えている。

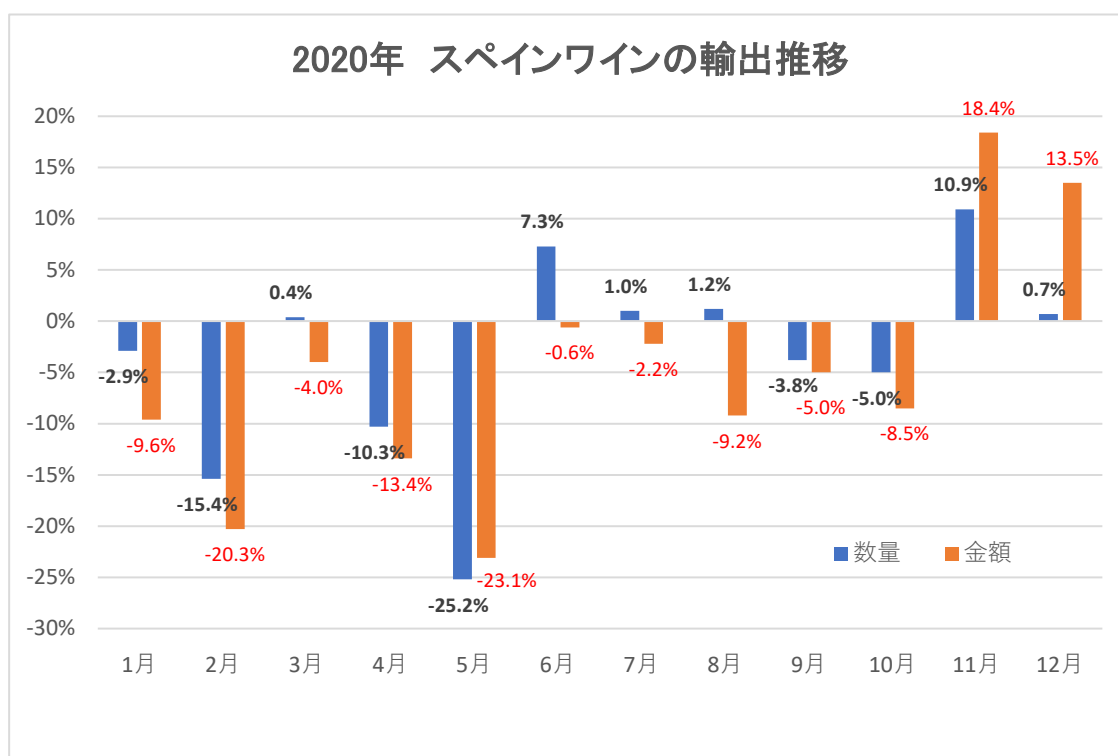
4. 輸出

スペインのワイン輸出状況 - 全体

スペイン国税庁・AEAT (Agencia Estatal de Administración Tributaria) のデータによると、新型コロナウイルスの世界的な大流行の影響を受けた 2020 年のスペインのワインの輸出は全般的に数字の下振れを記録し、数量ベースで 1 億 2680 万リットル減(-6%)の 20 億 1200 万リットルとなった。金額ベースでは約 9670 万ユーロ減額(-3.6%)して 26 億 1610 万ユーロとなった。マイナス成長ではあるが、現況を考慮するならば予想されていたものより減少は少なかったと言える。

平均販売価格はこの半期 6 か月のうちに約 5%上昇し、1 リットル当たり 6 セント増加して 1.27€。

次のグラフは、2020 年のスペインワインの輸出推移(数量と金額)を月ごとに示したものである。データによれば、売上高の落ち込みは、悪い順に 5 月、2 月、4 月であり、逆にプラス成長を記録したのは 3 月、6 月、7 月、8 月、11 月、12 月であった。最後の 2 か月がプラスに転じたことで、全体の落ち込みは抑制された。



出典: O.I.V.のデータを元に、OeMv が作成

2020 年を四半期毎にみると、第 1 四半期、そして何よりも第 2 四半期の推移が最悪のものであったことがわかる。第 3 四半期の推移もマイナスではあったが、落ち込みの具合は緩やかになり、第 4 四半期に入って伸びを記録し、金額ベース約 2%、数量ベースで 6.4%のプラス成長を記録した。

種類別にみると、スペインの**発泡性ワイン(スパークリングワイン)**の輸出は 2020 年振るわなかった。売上げは 4 月から 5 月にかけてガタ落ちとなり、6 月から 10 月にかけて数量ベースでの増加が見られたものの、11 月にまた、わずかながらも減少傾向に入り(-0.4%)、12 月には顕著な下落が起こった(-17%)。価格に関しては、2020 年のすべての月でマイナス推移をみせた。

2020 年の最終結果として、金額で約-12%、数量は約-4%、平均販売価格は約-8%となった。2020 年のスパークリングワインの輸出実数は数量で 1 億 7450 万リットル、金額で 4 億 0440 万ユーロ、リットル当たりの平均販売価格は 2.32 ユーロ。これは 770 万リットルの輸出量減少、5360 万ユーロの輸出額の減少、平均販売価格の 20 セント値下がり意味着。

市場別では、米国は金額ではスペインのスパークリングワインにとって第 1 位の輸出先国であり 5410 万ユーロを売り上げてもいるが、これは -21.6%の大幅な損失。数量ではドイツが第 1 位の輸出先国であり、3050 万リットル輸出したが-6.4%の減少。

2020 年、英国向けスパークリングワインの輸出量が際立って増加し、数量ベース(+58%、最大 2640 万リットル)、金額ベース(+9%)共に多くなった。平均販売価格が大幅に下落したため(-31%)である。ウクライナ、エストニア、オランダへの輸出の伸びも著しい。

対イタリアで記録された増加も著しく、特に数量ベースで+275%、360 万リットルと目を引くが、平均販売価格が非常に安価となったため(-68%、1 リットル当たり 74 セント)、金額での増加は 270 万ユーロ(21%)に留まった。輸出の減少した国としては、米国、カナダ、ベルギー、中国、日本などがある。

2 リットル以下の容器入りワイン

ボトル詰めスティルワインの輸出については、2020 年、金額ベースで 3500 万ユーロ(-2%)の減少、数量ベースで 1780 万リットル(-2.5%)の減少となり、それぞれ 16 億 1360 万ユーロと 6 億 9710 万リットルとなった。平均販売価格は 1 セント(0.4%)上昇して 1 リットル当たり 2.31 ユーロであった。

ボトル詰めスティルワインをサブカテゴリーの種別にみると、原産地呼称保護(PDO)認定ワインと地理的表示保護(PGI)ワインは数量ベース、金額ベースで共に落ち込んだ。表示のないワインについては数量ベースでは輸出は増加したが(+3.6%)、金額ベースでは減少となった(-4%)。

品種表示ワインの輸出は、金額ベース、数量ベース共に約 8.7%増加した。金額・数量ともに推移はプラス傾向で、白ブドウ表示ワイン(金額で+17.7%、数量で+16%)、赤ブドウ表示ワインの赤とロゼ(金額で+4.6%、数量で+5%)共に伸びがみられる。パーセンテージ比率で比較すると白の伸び幅が大きい。

市場別に 2020 年、スペインのボトル詰めワイン全般(スティルワイン、シェリー等の酒精強化ワイン、微発泡性ワインを含む)の輸出をみると、主要 11 か国の輸出先国のうち、伸びがみられた国は、金額及び数量ベース共に成長を記録した国としては、英国(金額で+12%、数量で+20%)、ドイツ(金額で+0.6%、数量で+8%)、スイス(金額で+12%、数量で+11%)、カナダ(金額で+13%、数量で+8%)とオランダ(金額+12%、数量+11%)。さらに数量ベースで成長を記録した主要輸出先国は、フランス(+2.2%)、米国(+1.3%)、イタリア(+24%)、ラトビア(+31%)であった。

輸出が減少した市場としては、**中国**(金額で -29%、数量で -26%)、**ポルトガル**(金額で -2%、数量で -16%)、**日本**(金額で -8.8%、数量 -4.4%)、**メキシコ**(金額で -23%、数量で -31%)などであった。

2～10リットルまでの容器入りワイン

通常**バッグインボックス**(BiB)に代表される**2～10リットルの容器入りワイン**は2020年、好調な推移をみせた製品である。好転のタイミングは、世界がCOVID-19によるパンデミックに急襲された時期と重なり、3月までのマイナス成長からプラスに転じた。2020年の輸出は金額ベースで+23%の6240万ユーロ、数量ベースで+41%の5040万リットルを記録して終えた。しかしながら、平均販売価格は-12.5%値下がり、1リットル当たり1.24ユーロとなった。

対2019年比で、平均販売価格は1リットル当たり18セント下がったものの、輸出は1170万ユーロ、1460万リットルと増加した。

サブカテゴリの種別でみると、表示のないBiBが一番量が多い。次は原産地呼称保護(PDO)のついたBiBで、その次が品種表示がついたBiBとなる。表示がないBiBは、金額で+19%の増加となり2340万ユーロ、数量では+35%増加して2580万リットルとなった。品種表示のあるBiBは、金額で約+80%、数量で約+175.5%増加し、特に白ワインの伸びが目立った(金額で+108.5%、数量で+241%)。また、地理的表示保護(PGI)のついたBiBの増加(金額で+29%、数量で+29.5%)も注目に値する。原産地呼称保護(PDO)のついたBiBの推移は好調とはいかず、金額ベースで約-0.4%減少し、数量ベースでは同じレベルという結果で2020年を終えた。

市場別でみると、2020年、**スウェーデン**は950万ユーロ(+48%)で、**スペイン**のバッグインボックスの輸出先国価格での第1位の地位を維持した。しかし数量ベースでみると、1位は**フランス**で、210%の増加で720万リットルとなった。これは2019年と比較してほぼ490万リットルの増加に相当する。それに続く**英国**は85%の伸び、(310万リットルの増加)で670万リットルとなった。スウェーデンに迫る勢いのフランスと英国は、この製品の驚異的な伸びを牽引した**二大市場**である。また、**ノルウェー**、**オランダ**、**フィンランド**の伸びも際立った。

バルクワイン

最後に、**バルクワイン**(10リットル以上の容器)の輸出に関しては、2020年、数量で10億5485万リットル、金額で4億5640万ユーロ、平均販売価格は1リットル当たり43セントであった。2019年との比較ではバルクワインの売上は数量で約-9.9%の減少で、金額では約-3.2%の減少となった。結果、2020年の**スペイン**の輸出は1億1570万リットル減少し、売上高でも1520万ユーロの減収となった。平均販売価格は3セント上昇。

市場別では、2020年6月にロシアの新ワイン法が施行され、その後**スペイン**の大量輸出はほとんどなくなった。2020年の下半期、**スペイン**から**ロシア**に輸出したバルクワインは57万

2550 リットル。2019 年の下半期の輸出が 2910 万リットルであったことを考慮すると大激減となった。

貿易収支

ワインの貿易収支は、輸出大国であるスペインにとって明白な黒字収支である。2020 年のスペインのワイン輸入総額は 1 億 6570 万ユーロで、輸出額 26 億 1610 万ユーロから差し引くと、24 億 5040 万ユーロの黒字収支となり、スペインの貿易収支全体での貢献度は大きい。

1995 年の貿易収支は 6 億 3060 万ユーロで、それ以降の推移をみると、過去 25 年間、年平均 5.7%の成長をしていることがわかる。

2020 年の総括として、スペインワインの輸出は 11 月、12 月の好調によって、2020 年の落ち込みを和らげて終えることができた。この年は、COVID-19 の世界的大流行のみならず、すでに述べたように、世界全体のワインの貿易に影響する、大きな問題が発生し、それらがスペインのワイン輸出にも大きな影響を与えたことに特徴づけられる年であった。

スペインは、数か月にわたって、(過去 12 か月の累計の)輸出が 2000 万 hl を下回っていたが、2020 年の 12 月のデータで **2012 万 hl (-5.9%)**、**26 億 1610 万ユーロ (+3.6%)** の輸出結果を計上した。前年度と比較して 1 億 2680 万リットル、9670 万ユーロの減収となった。

数量では、バルクワインの輸出が大幅に減少し、1 億 1570 万リットルの輸出減となった。しかし、金額で最大の減少を記録したのはボトル詰めワインで、8150 万ユーロの輸出売上の減少となった。さらに、この 8150 万ユーロのうち、5360 万ユーロはスパークリングワインの損失に相当する。バッグインボックスワインは、2020 年に最高の伸びを見せた製品で、金額で +23%、数量で +41% の増加を記録した。フランス、英国、スウェーデンが、昨年スペインのバッグインボックスの買付を最も増やした市場であった。

市場別にみると、ロシアへの売上高は半分以上を失い、中国への輸出は約 3 分の 1 を減少させた。が、2020 年、英国、オランダ、ノルウェー、アイルランドへの輸出は甚だしく増加し、売上高も上昇した。それと比較すると控えめではあるが、その他、輸出の増加した市場もあった。

この情報は 2021 年 5 月に ICEX スペイン貿易投資庁のワイン課で作成され、6 月に東京のスペイン大使館経済商務部で翻訳されたものです。一部順序を変え、削除した部分もあります。

種別別スペインのワイン輸出

出典: スペイン国税庁のデータをもとにOeMvが作成

	1995	2000	2005	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2020/19 年比
単位: 100万€													
DOPボトルワイン	261.6	586.8	735.7	1007.7	1082.8	1120.3	1198.7	1221.0	1269.7	1208.0	1209.5	1189.3	-1.7%
DOPバルクワイン	55.0	47.3	39.2	45.4	49.1	31.9	27.2	26.9	25.6	25.7	24.7	23.5	-4.7%
DOP無しボトルワイン	43.5	125.6	170.8	423.5	424.9	404.5	412.4	404.1	449.5	471.0	439.3	424.3	-3.4%
DOP無しバルクワイン	69.7	144.4	217.0	424.3	498.5	470.7	476.9	467.5	564.6	624.8	497.7	495.3	-0.5%
発泡性ワイン	120.5	228.3	289.7	419.4	458.6	410.3	438.0	429.4	460.3	516.7	458.0	404.4	-11.7%
リキュールワイン	176.4	91.8	83.3	59.0	59.3	64.7	65.7	67.8	65.2	61.7	61.6	59.0	-4.2%
微発泡性ワイン	5.6	2.4	5.0	18.2	23.4	23.5	22.2	28.2	23.0	17.0	22.0	20.2	-8.2%
合計	732.4	1226.6	1540.6	2397.6	2596.7	2526.0	2641.2	2645.0	2857.9	2924.8	2712.8	2616.1	-3.6%
単位: 100万リットル													
DOPボトルワイン	132.8	202.8	257.0	338.6	346.3	350.1	359.3	367.4	369.9	329.7	325.1	319.0	-1.9%
DOPバルクワイン	105.8	66.4	74.7	63.4	53.4	39.1	24.8	25.1	24.1	19.7	18.0	16.3	-9.8%
DOP無しボトルワイン	69.5	139.6	219.5	463.4	356.7	394.9	429.7	399.6	439.8	373.1	389.8	378.1	-3.0%
DOP無しバルクワイン	175.2	330.8	696.2	943.1	844.7	1235.3	1373.1	1231.1	1245.2	1054.5	1188.4	1089.0	-8.4%
発泡性ワイン	48.1	71.6	108.7	158.2	160.6	168.7	170.3	168.3	182.8	188.4	182.2	174.5	-4.2%
リキュールワイン	90.8	39.3	30.2	23.2	18.7	20.8	20.3	18.3	17.5	16.3	17.0	17.3	2.0%
微発泡性ワイン	13.0	6.4	2.1	17.7	20.1	19.3	15.8	19.4	18.3	12.8	18.3	17.8	-2.5%
合計	635.2	856.9	1388.5	2007.6	1800.6	2228.2	2393.3	2229.2	2297.6	1994.3	2138.7	2012.0	-5.9%
単位: €/1リットル													
DOPボトルワイン	1.97	2.89	2.86	2.98	3.13	3.20	3.34	3.32	3.43	3.66	3.72	3.73	0.2%
DOPバルクワイン	0.52	0.71	0.52	0.72	0.92	0.82	1.09	1.07	1.06	1.31	1.37	1.45	5.6%
DOP無しボトルワイン	0.63	0.90	0.78	0.91	1.19	1.02	0.96	1.01	1.02	1.26	1.13	1.12	-0.4%
DOP無しバルクワイン	0.40	0.44	0.31	0.45	0.59	0.38	0.35	0.38	0.45	0.59	0.42	0.45	8.6%
発泡性ワイン	2.50	3.19	2.66	2.65	2.86	2.43	2.57	2.55	2.52	2.74	2.51	2.32	-7.8%
リキュールワイン	1.94	2.34	2.75	2.54	3.16	3.11	3.23	3.70	3.73	3.79	3.63	3.41	-6.1%
微発泡性ワイン	0.43	0.38	2.32	1.03	1.17	1.22	1.41	1.45	1.26	1.33	1.20	1.13	-5.8%
合計	1.15	1.43	1.11	1.19	1.44	1.13	1.10	1.19	1.24	1.47	1.27	1.30	2.5%